

東日本大震災復興に思う～技術の融合と多様性～

佐藤 滋

早稲田大学 研究院教授、都市・地域研究所 上級研究員

東日本大震災は、未曾有とも想像を絶するとも形容されていますが、土木や建築の世界に今世紀最大の衝撃と、そして新たな展開の機会をもたらしたとも言えます。

3月11日大震災が起きた時、私は日本建築学会の理事会で定款の改正に関して議論をしている時でした。説明役の副会長が日本建築学会の定款に、建築学会は社会に貢献する、という文言を入れることの説明をしていた時に、この地震が起きました。当日理事会メンバーは帰宅する事が出来ず、刻々と明らかになる被害の大きさに、その日の深夜に震災復興本部を立ち上げ、活動を開始しました。

土木学会、都市計画学会と連携して、この震災を乗り切るために我々学会のメンバーは、一致団結して貢献したいと表明し、また多くの組織が連携出来る様な広域連携組織を立ち上げて、そこに政府セクターはもとより、学会研究機関や職業団体、さらにはNPOなどの組織が糾合して、国を、地域を挙げてこの復興に取り組む事などを提案しました。

さらに当時このような震災には国家機関が画一的な国家事業として復興事業を推進するという意見もあり、学会はそうではなくて、地域の多様性を尊重して、これにそして地域がもっている潜在力を最大限に活かして、その様な多様な復興とそれを実現する為の技術と手法を開発し、それを適用するべきだという考えでした。

この年の5月で学会長の任期を終えて、これを体現する具体的な研究に取り組みましたが、その一つのテーマがそれぞれの地域特性に応じた「建築まちづくりと土木インフラの融合」でした。課題であった防潮堤など巨大なインフラの整備が先行し、まちづくりは、その後に分離されて進む、という方向ではなく、インフラとまちが一体となって新たな価値を生み出すことができるのではないかと、ということです。幸い石巻の旧北上川の河川沿い地区と気仙沼の内湾とご縁ができて、私たちは、研究員、学生と一緒に様々なイメージを検討し、これを半年かけて動画に制作をし、そして地域の皆様方に見ていただきました。こんなことを通して、石巻でも気仙沼でも少しずつ、この技術の融合という事が前に進んだかと思いますが、我々が描いたものとは大きな差があると思います。

今考えなくてはならないのは、次にくる大震災に前もって準備をしておかないと、せっかく開いた窓はすぐに閉じられてしまう、ということなのです。被災直後に様々な提案もし、動きもしましたが、これらが解けないうちに、事業は進めなければならないのです。東日本大震災での様々な復興まちづくりを、今後きちんとした検証をし、次の窓が開かれるときに備えることがこの被災に報いる道と考えます。

WS (ワークショップ)

仙台地区WS研修がスタート

■テーマ 「東北地方で会社を立ち上げる(新規事業)としたら何をやるか」

■参加者

- ・ファシリテーターは、JR 東北工事事務所開発調査室 島兎室長
- ・メンバーはファシリテーターを含め総勢 16 名 (全員 JR 東北工事事務所)
系統別にみると、土木 7 名、電気 7 名、建築 2 名
入社年次は (ファシリテーターを除き) 平成 22 年～29 年と若手主体

■WS の進め方

全 3 回を予定、第 1 回は「まずはアイデア」、第 2 回で「再度アイデア、その実現可能性」、第 3 回は「ケーススタディと具体化」。

1 月 15 日に第 1 回を開催、メンバーからは、まさに色とりどりの提案があり質問や意見が多く飛び交いました。次回以降が楽しみです。

■未来構想 PF 山本会長の特別講義 (第 1 回 WS 研修の特別講義で配布された“メモ”)

将来ビジョンを考える視点(メモ) —例えば地方創生や新規事業—

●基本の手順 マクロからミクロへ

- 日本全体から考える ・日本全体→東北→宮城県→気仙沼・石巻・女川・陸前高田
- まず歴史から考える ・50 年前から考えて 50 年後を考える
・仙台駅の歴史→駅改良の歴史→現在の課題
- 自分の専門領域を脱皮する ・ローマ時代 軍事工学と非軍事工学の 2 本立て
・歴史とともに工学が細分化→プロジェクトは総合テーマ
- この手順は、大規模駅でもローカル駅でも開発事業でも変わらない。
・全体から入ると、その地域の課題が見える(客観的に評価できる)
・課題とともに、地域の特徴や利点も浮き彫りになる

●事例：地方創生と課題

- 地方創生の議論はなぜ起こったのか ここから入る
- 国の視点(東京からみた視点)と地域で見る視点は違う
- 複眼でみる
- 国の施策と地域の施策は両輪 ・高速道路、新幹線だけでは地方は創生できない
・コンパクトシティとネットワーク
- 逆境を逆手に取ったところが活性化している ・空家の活用 ・震災被災地の商店開発

●事業化・・・今回のテーマ

- いきなり事業と会社づくりに入らないで、まず考える。
- CNCP・・・シビル NPO 連携プラットフォームの例
・事業化推進部門・・・シンクタンクチームに幾つかの研究会から
・課題・地域のニーズが必要・・・自分がやりたいというのも動機だが

VOICE (会員の声)

2018 年入社式 各社トップの挨拶

(各社のホームページやネットで紹介されている挨拶の抜粋です：事務局)

■ソフトバンクグループ 孫代表

今後皆さんは約 40 年間ソフトバンクの社員として仲間たちと一緒に過ごすこととなりますが、40 年の間には多くの変化があることでしょう。コンピューターの CPU の能力や通信の速度、メモリーのサイズは今の 100 万倍をはるかに超えるレベルになります。人間の英知をコンピューターの英知がはるかに超えていく、そういう世界になったとき、人間はどのような仕事をするようになるのでしょうか。

今の仕事は、いわゆるブルーカラーとホワイトカラーの 2 つに大きく分けられます。30 年後にはブルーカラーの仕事は「メタルカラー」に、つまり AI (人工知能) を搭載したロボットにほとんど置き換わると思います。また、ホワイトカラーの仕事もかなりの部分が AI に置き換えられていくでしょう。現在のロボットに OS が搭載され、その OS の上で人工知能が自在に動くスマートロボットがでてきます。ソフトバンクグループがスマートロボットの生みの親になるかもしれません。そうするともっとクリエイティブで、人間同士が心を通じ合えるような、人に感謝され、感動を与えられるような仕事が、より高付加価値がある仕事となります。人々はありがたいと思うことに対して対価を払い、それが報酬になります。AI に人間の仕事が奪われてしまうのではないかと言う人がいますが、人間が人間に感謝し、人類に貢献していくことは永遠のテーマであり、そういうことのために AI は進化していくのだと思います。

ソフトバンクグループが目指すのは、情報革命ただ一つ。その情報革命で人々を幸せにするという思いがあります。1 回しかない人生。熱き心で多くの人々に幸せになってもらいましょう。われわれは今後あらゆる領域で世界一になり、300 年成長し続ける企業グループになると、心から信じています。なぜならば、ソフトバンクグループは自己増殖をするだけではなく、自己進化をするグループだからです。私は皆さんと同じ志を共にし、情報革命を目指し、グループが自己進化するために一生懸命その先頭を走っていきます。ソフトバンクグループはまだまだ創業期です。同期の桜として一緒に素晴らしい人生を過ごしましょう。

■清水建設 井上社長

誠に残念なことです。先月、中央新幹線建設工事を巡る独占禁止法違反容疑で当社は起訴されました。現在、信頼回復に向けて、全社を挙げて再発防止に取り組んでいるところです。皆さんにおいては、委縮することなく、正々堂々と前向きな気持ちで社会人としての第一歩を踏み出していただきたいと思います。

そして、仕事をするうえでは、「建設業に誇りを持ち、ものづくりに真摯に向き合う」、「心の通ったコミュニケーションを心掛け、チームワークを大切に」、「基本を大切にして、研鑽を積み、「一流」を目指す」ことを常に心掛けてください。そうすることで、お客様の期待を超える価値、社会に新たな価値を提供することを目指してもらいたいと思います。

皆さんの夢と希望の実現に向けた努力や挑戦が清水建設の発展の原動力になります。高い志を

持ってこれからの会社人生を歩んでもらいたいと思います。最後に皆さんに、メジャーリーガーのイチロー選手の言葉を紹介します。

「壁というのは、できる人にしかやっこない。超えられる可能性がある人にしかやっこない。だから、壁がある時はチャンスだと思っている」

困難に直面した時に、ぜひこの言葉を思い出してください。共にシミズの新たな歴史を切り拓いていきましょう。

■三井物産 安永社長

私からは、皆さんの先輩の一人として、二点アドバイスしたいと思います。

一点目は、「初動が大事」ということです。鉄は熱いうちに打て、といいますが、まさに今、皆さんは熱された鉄の状態です。最初の3年から5年間の経験が、その先の成長のための土台となります。そこでの経験の差が、将来ライバルとの大きな差となって表れると言っても過言ではありません。どんな些細な仕事もおろそかにせず、全力投球してほしいと思います。先輩や上司から貪欲に学び、良いところをどんどん吸収して下さい。その上で、与えられた仕事で一つずつ確りとした結果を出せば、それは周りからの「信頼の貯金」に繋がります。貯金が貯まれば、新しい、よりチャレンジングな仕事を任せて貰えるようになります。三井物産には素晴らしい先輩や上司が溢れています。皆さんの活躍を待つ「仕事の場」も数えきれないほどあります。早くこの良い循環を確立できるよう、自分自身を徹底的に鍛えて欲しいと思います。

二点目は、「相手の立場になって考える」ことの重要性です。自分の考えを理解してもらうために、相手が何を感じ、何を求めているのか、先回りして対応出来るほどに相手を理解する。その為には、日頃から社内外で密なコミュニケーションを心掛け、柔軟な思考能力を磨くことは勿論大切ですが、相手を尊重し、常に謙虚に「相手の立場になって考える」ことが重要だということをお忘れしないで下さい。

■住友電工 井上社長

新たに当社グループの一員となられた皆さんに、期待と激励を込めて、次の3つのことをお願いいたします。

1. 住友事業精神を根本に据えて仕事に取り組む

皆さんは、住友事業精神の「萬事入精」「信用確実」「不趨浮利」という考えを会社生活の基本として過ごして下さい。一人ひとりが「萬事入精」「信用確実」「不趨浮利」の心構えで、誠心誠意、仕事に取り組むことで、職場で活躍する人材に成長されることを心から願っています。

2. 変革を起こすプロフェッショナルを目指す

皆さんは基本を大切にしながらも、柔軟な発想で、変化に対して臆することなく挑戦し、それぞれの分野で変革を起こし、会社をリードしていくプロフェッショナルとなってください。また、社会や経済の動向には常に関心を持ち、普段から様々なことに問題意識を持って仕事に取り組んでください。

3. コミュニケーションを大事にする

世界約40カ国で事業を展開している当社グループが、今後もグローバル企業として更に成長するためには、ダイバーシティの推進は必要不可欠です。皆さんはそれぞれの職場で、宗教、人種、

文化、性別が異なる、ダイバーシティに富んだメンバーと、積極的にコミュニケーションを取りながら業務に取り組み、周囲から信頼される社会人として成長されることを心から望んでいます。

■JR西日本 来島社長

入社式ではまず、2005年に発生した福知山線脱線事故で亡くなった方々に対して黙祷が捧げられた。来島社長は、「鉄道の安全はJR西日本グループのあらゆるサービス、商品の根幹であります」と述べ、鉄道の安全性を強調。今年で13年目を迎える福知山線脱線事故にも言及し、安全対策を推進していることを説明した。また昨年12月、東海道・山陽新幹線「のぞみ34号」で発生した自社車両による重大インシデントにも触れ、「事故や背景の究明、諸々の対策を策定し進めている」と述べ、最後に新入社員に対して、「皆さん自身の成長に強くこだわってほしい」「考えて行動する、考動を実践する」という2つのメッセージを送った。

■東急グループ 野本代表

東急グループは様々な事業を行っており、皆さんのビジネスパーソンとしての夢をかなえる土壌は十分にあります。しかし、「夢」や「願望」は誰でも持つことは出来ませんが、強い「志」を持って、自ら考え行動していかなければ決して「夢の実現」はありません。皆さんのチャレンジを大いに歓迎すると同時に、皆さんの「夢の実現」が、東急グループそして世の中の発展に貢献することを強く望みます。

渋谷では、長年に亘ってグループを挙げて再開発事業に取り組んでいますが、現計画の全体的な完成は、まだ10年も先のこととなります。街づくりをはじめ、事業は継続することが何よりも大事です。継続させるためには、しっかりと利益を上げ、必要な投資を続けていかねばなりません。

皆さんは、それぞれの会社でいろいろな仕事に就くと思いますが、言われたままやるのではなく、「何のためにその仕事をやるのか」、「何故そうしなければならないのか」、仕事の目的を是非考えてください。すべて自分を試し、鍛えてくれる機会になると思います。仕事の目的が分かれば、それを達成する手段は幾通りも考えられます。どうすれば効率が上がるか、どうすればより面白くなるか、考えながら仕事を進めてください。10年後、グループの拠点である渋谷の再開発が完成します。その頃、皆さんが、会社にして世の中に役立つ仕事をしている事を期待しています。

■日本道路 久松社長

我が業界は、かつて3K（キツイ・汚い・危険）や6K（+給料が安い・休暇が少ない・カッコ悪い）と呼ばれていました。しかし、現在は政府が提唱する「働き方改革」に対応し、業界をあげた取り組みが始まっています。

当社は11年後の2029年に、創業100周年を迎えます。11年後を思い描いてください。皆さんは立派な日道マンとして、最前線で活躍しているはずですよ。ぜひその日を楽しみに、日々精進してください。これまで多くの先輩たちが積み重ねた歴史と伝統を受け継ぎ、信用力・技術力といった当社の強みであるDNAを皆さんの世代へ、またその次の世代へと確実に継承させ、150年・200年と続く企業にしていきたいと思います。

さて、私は一年前の社長就任以来、一貫してあるメッセージを発信してきました。今日は皆さんにもお伝えします。それは「現状維持は最大のリスクである」というメッセージです。つまり、現状維持というのは何もしないということに陥りやすく、知らぬうちに衰退していきます。常に高い目標を掲げ、達成すべき方策を考え、現状に逃げることなく努力することが大切だということを、ぜひ忘れないでほしいと思います。

■伊藤忠商事 鈴木社長

伊藤忠のDNAは「失敗しないことより、失敗しても起き上がることを良しとするところ」にあります。大きな発想の転換や思い切った選択をし、失敗をおそれず新しいものにチャレンジするのが伊藤忠の社風です。

これから始まる皆さんの商社パーソンとしての人生を、伊藤忠同様、是非「挑戦」と「進化」の歴史にさせていただきたいと思います。そのため、皆さんに贈る言葉は、三つ、「謙虚」、「勉強」。そして、「挑戦」ということです。

まずは、謙虚に学ぶこと。常に勉強を怠らないでいただきたい。そして、自分に与えられた仕事をまずはしっかりと身につけ、そしてその分野のプロになることをまずは目指していただきたい。プロというのは、常にアンテナを高くし周りの動きをつかむことができる人ですが、そのためには、傲慢さを捨て、お客様や上司、同僚に学び、常に教えを乞う謙虚さが大切になります。

更に、プロ中のプロ、真のプロフェッショナルは、常に挑戦し、イノベーションや進化を起こしていく人です。勝つか負けるは僅かな差です。叩き上げたスキルを用いて「知恵」を出し、次は勇気をもって人より一歩前にでる、挑戦する人材になっていただきたいと思います。

■博報堂 矢島社長

今日は私から皆さんに、3つのアドバイスをします。

まず「就職活動の時に持った夢や情熱、あるいは志」を貫いてください。この先、現場に配属されると、忙しさのあまり、就職活動で抱いた夢や情熱、目標や理想を、どんどん忘れてしまいがちです。それらを後回しにしたり、自分に対してやらない口実を作ったりしてしまうようになるかもしれません。しかし、入社前に持った想いは、仕事で挫折しかけた時に皆さんを励まし、成功した時には、一人ひとりをより高みへと連れて行くエネルギーとなります。もう一度、心にとめ直してください。

次に、「目標とする人」を探してください。皆さん、いま憧れている人はいますか？これから仕事をしていく上で、“こういう人になりたい”というイメージを常に具体的にもってください。その人はどのようにふるまい、どのように判断をし、成功したのか、それを知ることは、自分の人生に、明確な道標を設けるようなものです。憧れる人は、社内限定する必要はありません。大きく成功している人であればあるほどいいでしょう。人間は、自分の定めた目標の範囲でしか、成長しません。ですから、大きなことを成し遂げたいのであれば、それに見合った人を見つけて、それを目指してください。

最後に、「自分はチームの一員であるという自覚」を忘れないでください。人間、少しうまくいくと自分の力を過信するものです。しかしこの先、皆さんが取り組む課題は、決して一人で完結するものではありません。自分とかけ離れた能力や経験を持つメンバーと一緒にあってこそ、全

く新しい解決策が生み出されます。共に高めあい、大いに競い合い、助け合う。チームの一員として存在していることを、意識し続けてください。いいチームを持つ人が成功します。そして、自分よりも他の人がやったほうがいいことは、人に任せる勇気と寛大さも忘れないようにしてください。

■近鉄エクスプレス（KWE） 鳥居社長

「社会人基礎力」という言葉があります。意味は「メシが食える大人として、どのような環境でも自分の能力を最大限発揮できるための基盤」のことです。これを身につけるためには、何を学ぶ必要があるのかを自分で徹底的に考え、積極的に自ら色々な経験をし、いくつもの修羅場をくぐった実体験の中から様々なことを身をもって学ぶことが不可欠です。皆さんにも是非「社会人基礎力」を身につけて頂きたいと思います。

皆さんはこれまで、どちらかという学校教育を通じて受身の教育を受けてきたのではないかと思います。しかし、社会に出てからは自ら能動的に行動を起こすことが求められます。当社には、様々なチャンスが溢れていますが、自分でそのチャンスを掴み取る意志と行動を見せないと埋もれてしまう可能性があります。上司、先輩との対話により、自身の意志をしっかりと表現をしてチャンスを獲得するための行動力が必要です。

■リコー 山下社長

自分の経験を踏まえ、新入社員の皆さんに期待することは次の3つです。

- 1.自己主張ができる・・・おとなしい優等生よりも、自己主張ができ存在感を示せる人に
- 2.グローバルに生きる・・・グローバルな視野で考え、ローカル（現場）で実行する人に
- 3.リーダーになる・・・まわりの人に影響を与えて、効果的な行動を引き出す人に

私は常々、「企業の宝は、社員のモチベーションである」と思っています。そのためにも、皆さん一人ひとりにとって、やりがいのある仕事場にしていくことは私の重要な役割だと考えています。今からおおよそ20年後にはリコーは創業100周年を迎えますが、このときリコーを担っているのは、他の誰でもない本日入社した皆さんです。今日からリコーは高い目標を掲げ「挑戦」を開始します。一緒に力を合わせて、成長に向けて新しいリコーを創り上げていきましょう。

NEWS

■交通新聞より（2018年2月7～9日に3回にわたり掲載された特別寄稿のうちの第2回）

続 新規投資で鉄道再生 ～欧州からの報告～

関西大学教授・ウィーン工科大学客員教授 宇都宮浄人

.....

昨年4月から、筆者はオーストリアのウィーン工科大学交通研究所に滞在しており、先に本誌で欧州の地方鉄道の再生の姿を報告した（2017.08.02～04）。今回は、その続編としてオーストリアの三つの事例を紹介したい。

.....

第2回 予算配分を変えて地方鉄道を再生（利用者が伸びるリンツ地方鉄道）

オーバーエスタライヒ州の州都リンツは、ウィーンから特急レールジェットで1時間、人口20万人の地方都市である。周辺の都市圏を含めた大リンツ市でも27万人に過ぎないが、ウィーン、グラーツに次ぐオーストリア3番目の都市である。

近郊の鉄道路線は、ドイツ語圏で一般的な「Sバーン」というネットワークがあり、基本的にオーストリア連邦鉄道が運行する。ただし、リンツのS5系統は、グムンデンの路面電車やトラウンゼー鉄道と同様シュテルン・ハーフェル社が担う別の鉄道で、リンツ地方鉄道と呼ばれる。

リンツ地方鉄道は、リンツ中央駅からリンツの北西部に向かい、途中で目的地が二つに分かれる全長59kmの鉄道である。1908年に地元が出資する私鉄としてまず末端部が開業し、その後1912年にリンツとつながった。シュテルン・ハーフェル社も開業時から資本参加し、運行を担っている。現在、リンツ地方鉄道の株式は、リンツ市が筆頭で半分以上を持ち、ついでシュテルン・ハーフェル社が3分の1を所有する。

リンツ地方鉄道は、以前本連載で紹介したザルツブルグ地方鉄道とは違い、開業後の路線廃止はない。とはいえ、自家用車の普及に加え、路線バスやスクールバス、企業の送迎バスなどとの競合により、1970年代半ばから1980年代にかけて利用者は大きく減少した。ところが、1990年代以降、利用者は回復し、とりわけ2000年代後半は大きく伸びている。

この大きな要因は、全面的な車両の置き換えと、2005年に完成したリンツ中央駅へのターミナルの統合である。リンツ地方鉄道は、それ以前、連邦鉄道のリンツ中央駅から一步入ったところに、自前のターミナルを持っていた。しかし、これでは不便ということで、かねてより駅の移設という話があがっていた。これが、2000年代に入り、リンツ中央駅の建て替え、路面電車の中央駅地下乗り入れ、バスターミナルの建設に合わせる形で実現したのである。ちなみに、駅の統合に際し、置き換えた新車は、連邦鉄道の坑内を走るため、複電圧車である。これら駅の統合と新車の導入だけで、80億円近い投資となった。

むろん、これ以外の投資もある。この20年余りの間、オーバーエスタライヒ州の支援の下、リンツ地方鉄道は、全面的な路線の改良、駅の新設や改良、パークアンドライド施設の整備など、地道なインフラの近代化を進めてきた。パターンダイヤの導入で本数も増え、車両更新によって最高速度が50キロから70キロとなり、所要時間も短縮、利便性は向上した。また、オーバーエスタライヒ運輸連合の下、他の交通機関と運賃の統合が行われ、主な駅はバスと乗換拠点となった。このような利便性の向上で、沿線の住宅開発も進み、利用者が伸び続けているのである。

それでは、リンツ地方鉄道にしても、前回述べたグムンデンのトラムトレインにしても、オーバーエスタライヒ州は、どのような財源を活用したのであろうか。

オーストリアでは、他の欧州諸国同様、一部の幹線鉄道（ウィーン・ザルツブルグ間など）を除き、鉄道は「公共サービス」とみなされ、公的な資金で支えることになっている。そのため、投資予算はもちろん、運行経費も通常の地方鉄道に対しては、連邦及び州からの支援が「公共近距離・地域旅客輸送法」によって定められている。

もっとも、オーバーエスタライヒ州のように、2000年以降、積極的に地方鉄道の投資を行い、サービス水準を高める場合は、連邦からの資金は最大でも州負担分と同額しか来ない。さらに、グムンデンの路面電車のように都市圏内で交通投資を行う場合は、そもそも国は支援を行う義務はない。グムンデンのプロジェクトでは投資額の8割を州が負担しており、リンツの路面電車に

対しても、昨近のリンツ郊外までの路線延伸に関しては、州が同様に8割の資金負担をしている。

そこで、オーバーエスタライヒ州のこれら資金の財源を確認するために、州の予算書を10年分紐解くと、特別な財源はなく、交通関連の一般会計予算の中で、公共交通向けの予算をやりくりしていることがわかる。河川関係を除くオーバーエスタライヒ州の2017年の交通関連予算総額は2008年対比11%の伸びであるのに対し、公共交通関連予算は同じ時期に64%伸びている。道路建設・維持管理予算を7%削減して、その分が公共交通関連に再配分されているのである。ちなみに、オーストリアは物価上昇が続いており、インフレ分を差し引くと、交通関連予算総額は実質で11%、そのうち道路建設・維持管理予算は実質で25%ともに減少している。

オーバーエスタライヒ州政府の道路建設・交通局長のクネーティヒ氏は、「今の時代、環境を含めた地域全体のことを考えると、公共交通を重視するのは当然のことだ」と言う。ここで紹介したリンツ地方鉄道も、年間利用者は一時期より大きく増えたとはいえ、せいぜい200万人と、同じ規模の近江鉄道の半分にも満たない。連邦鉄道の閑散路線（輸送密度が100人未満のような路線）を今後どう維持していくのかは議論があるというが、自動車に過度に依存した社会を変えるために、公共交通に積極的な投資を行うという方針は明確である



写真—連邦鉄道のリンツ中央駅に入線したリンツ地方鉄道。
愛称はリンツ・ローカルの頭文字からリロ（L I L O）

■最近の気になるニュース

岩井有人さん（JR東日本東京工事事務所）のFacebookより抜粋させて頂きました。

① 再開発の5割にタワーマンション、供給過剰に懸念（03.21）

日本の都市整備で大きな役割りを担ってきた官民の市街地再開発のバランスが崩れてきた。超高層住宅（タワーマンション）を備える割合が、1990年代前半の15%から2016～20年は5割近くに増えることがわかった。

② イオンを拒んだ福井、人口減日本の現実（03.25）

都道府県で唯一、福井県にはイオンの大型店がない。昨年、隣接する石川県小松市に大型のイオンが開業すると客が流出。福井県内の商店業者は異例の連携。イオンを拒んだ町と受け入れた町。その綱引きが象徴する都市間の生き残り競争。

③ 吉備線 LRT 化合意へ (03.28)

岡山市、総社市、JR 西、トップが来月会談。岡山市の大森市長は記者会見で、岡山駅と総社駅を結ぶ JR 吉備線 (20.4 km) の次世代型路面電車 (LRT) 化を巡り、4 月 4 日に総社市の片岡市長、JR 西日本の来島社長と岡山市役所で会談すると発表。

【その他】

- ・ 出国税、チケットに「上乗せ」(04.12)
- ・ 南鳥島のレアアース、世界需要の数百年分 (04.12)
- ・ 大阪メトロが 1 日始動民営化、ロゴ張り替え急ぐ (04.01)
- ・ 自動運転中の事故、クルマの所有者に賠償責任 (03.31)
- ・ インドに円借款 1492 億円 (03.30)
- ・ 都市の「顔」実需で交替、東京は赤坂が住宅地最高価格、大阪の商業地首位は心斎橋 (03.28)
- ・ 駅のバリアフリー整備費を運賃に上乗せ、国交省 (03.24)
- ・ 中国、日本抜き 2 位に、国際特許の出願件数 (03.22)
- ・ 本線トンネル掘削始まる、リニア中央新幹線南アルプストンネル (03.15)

■計画・交通研究会が会報 2018-03 を発行

□Interview 1964 年から 2020 年へ、東京パラリンピックを考える

組織委員会パラリンピック統括室長 中南久志、鹿島建設 田中啓之

□Projects. つむぐ歴史、つなぐ技術、むすぶ価値

日本工営

□Column My Elder Colleague and My Younger Colleague

清水建設土木東京支店長 杉浦克郎、インフラ運営事業部グループ長 玉尾英明

□Column 至福の時間

東日本旅客鉄道 営業部長 阪本未来子

□Reports 特別講演会 「橋の臨床成人病学入門の概要」

第 5 回イブニングセミナー 「ここまで進化した天気予報の技術」

□Opinion アルジェリア東西高速道路工事を通じて感じたこと

鹿島建設 田代民治

* 詳細は計画・交通研究会事務局にお尋ね下さい。 jimukyoku@keikaku-kotsu.org

■シビルNPO連携プラットフォーム (CNCP) が会報第 48 号 を発行

◇今月のひとこと (最終回)

CNCP 代表理事 山本卓朗

◇巻頭言 魅力度 5 年連続最下位「茨城」のイメージアップ戦略

NPO 法人茨城の暮らしと景観を考える会代表理事 三上靖彦

◇コラム 自動車の自動運転化に、思うこと

南房総 CCRC 研究会会長 廣谷彰彦

◇明治 150 年企画特集 (8) シビル NPO なら地域の災害リスクが分かる

㈱エイト日本技術開発災害リスク研究センター センター長 田中努

◇部門活動紹介 サービス提供部門 NPO ファイナンス (10)

ソーシャルインパクト評価に関するセミナーの開催について

◇シドニー視察旅行記 (5) 世界自然遺産ブルー・マウンティンズを訪ねて

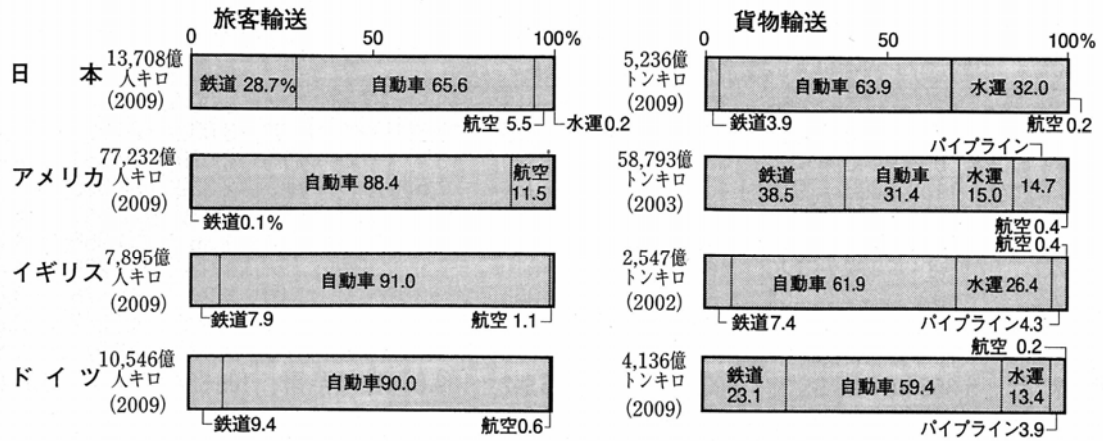
NPO 法人 SLIM ジャパン理事長 有岡正樹

- ◇会員からの投稿 伝えたいこと、伝わらない理由、伝え方 CNCP 個人正会員 小林大
 - ◇サポーターからの投稿 レポート花畑川 アイセイ(株) 田山麻衣美
 - ◇お知らせ サポーターを募集しています
- *詳細は CNCP事務局にお尋ね下さい。 info@npo-cncp.org

今月の国際比較データ

① おもな国の輸送機関別国内輸送量の割合

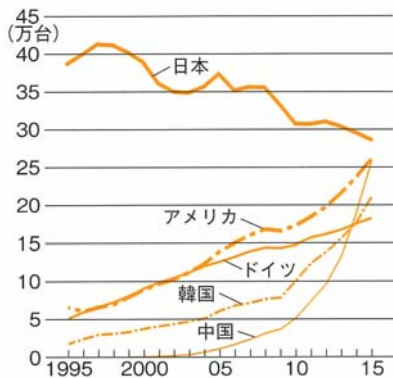
出典：データブックオブ・ザ・ワールド 2016 二宮書店



イギリスの2009年の貨物輸送は1,638億トンキロで、割合は鉄道12.9、自動車80.3、水運(内航水路のみ)0.1、パイプライン6.2、航空0.4となる。

② 主要国の産業用ロボット使用台数

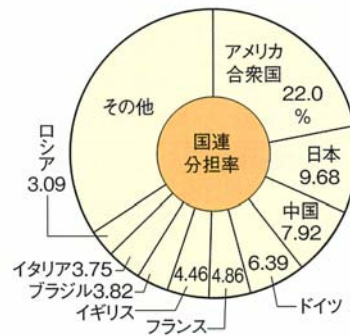
出典：日本のすがた 2017



日本ロボット工業会しらべ。アメリカにはカナダ、メキシコをふくみます。

③ 国連分担金の割合

出典：(公財) 矢野恒太記念会



2016年から2018年の分担率。

④ がん検診受診率の国際比較

出典：朝日新聞 2018.02.27

先進国でがんの死亡が増え続けているのは日本だけ。世界一のがん大国だが対策が遅れてきた。がん検診の受診率も女性では乳がん、子宮頸がんが先進国の中で最も低い。また、がんと診断されると3人に1人は離職する。仕事との両立のために重要なのは、時短勤務の活用。時間単位の時短制度が機能すると中小企業でもかなり両立は可能だ。両立支援対策も経営層の理解が高い方が行われる。そして経営者ががんのことを知っている会社の方が、がん検診を受診するというデータもある。

がん検診受診率の国際比較

OECD(経済協力開発機構)医療統計2015から。()内は調査年。乳がん検診は50～69歳、子宮頸がんは20～69歳が対象

米国	80.8%(2012)…乳がん 84.5%(2012)…子宮頸がん
フランス	75.4(2010) 73.6(2012)
英国	75.3(2014) 77.5(2014)
ドイツ	71.3(2012) 52.8(2012)
韓国	67.6(2014) 66.7(2014)
オーストラリア	57.3(2012) 57.3(2012)
日本	41.0(2013) 42.1(2013)

PF書店

① 科学のミカタ 元村有希子著 毎日新聞出版

(*未来構想 PF 山本会長からの推薦です)

科学記者として20年近く、科学技術や環境問題をウォッチしてきた著者談。AI、ゲノム、重力波・・・科学の世界の読み解き方を教えます。この本は科学の世界の個別具体的なトピックを取り上げて紹介しつつ、まとめて眺めたときにどう受け止めるかを考えるヒントになればと思います。2012年末に出版した「気になる科学」の続編として、その後に起きた科学のまわりの出来事を取り上げている。



② 労働者階級の反乱 ブレイディみかこ著 光文社新書

世界を激震させた英国のEU離脱。英国で労働者の街に暮らす著者の夫や友人たちも離脱に投票し、かつ、結果に驚いた。彼らは、メディアで報じられるような「移民排斥を叫ぶ下層」ではなく、「トランプ現象」にも覚めた視線だった。英国の労働者階級とは何者で、なぜEU離脱を選んだのか。本著はその歴史と現在を読み解く。



③ 定年待合室 江波戸哲夫著 潮出版

人生後半の大逆転を描く爽快な小説である。

出世コースから外れた男たちが、一度は失った自らの立ち位置を見出していく。大手百貨店の敏腕営業マンだった主人公が、ある出来事で左遷に。その頃妻の癌が見つかり早期退職。妻をみとって2年、少々気力が戻ったところへ、困難ないろいろな依頼が舞い込む。それらの案件を、能力は高いが不遇な人々が集結し、素晴らしいチームワークで解決していく。



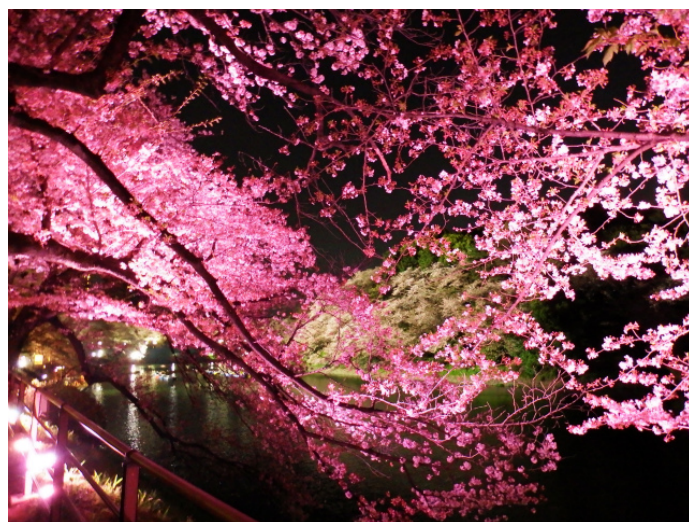
事務局通信

◇国際比較データ募集

毎号数例の国際比較データを掲載し皆様に楽しんで頂いています。分野は問いません。もし何か国際比較データを目にされたら、事務局（下記連絡先）までご一報をお願いいたします。

～ ● 今月の写真コーナー ● ～

今年の桜は平年より早く開花しあつという間に満開。通勤途中の皇居千鳥ヶ淵の夜桜です。



《写真提供：JR 東日本 岩井有人さん》

プラットフォーム通信では、メンバーの皆様の投稿をお待ちしています。
連絡先：未来構想 PF 事務局 土井 携帯:090-9150-8613 メール：info@miraikoso.or.jp
〒100-6005 東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビル 5F-28